

記者の一 「川崎・中1殺害事件」



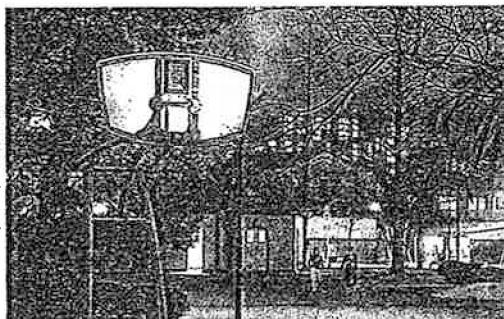
大場 弘行
横浜支局

川崎市の中学生1年、上村達太さん(13)が殺害された事件の発生から2カ月近くが経過し、殺人や傷害致死の非行内容で家裁送致された17~18歳の少年3人の少年審判が続いている。世間の関心は既に別二ユースに移ったかもしれないが、私は取材で出会った上村さんの友人のことが忘れられない。もう1年近く中学に行っている中2の少年だ。友の悲惨な死を目の当たりにしながら抜け出せない子供がいる現実を知つてほしい。

上村さんと似た 境遇の遊び仲間

上村さんは、上級生や他校の生徒と公園やゲームセンターなどで遊ぶようになり、事件のリーダー格の少年(18)らと出会ったときがある。その交友関係を取材する中で、私は中2の少年を知つた。年齢は上村さんの一つ上。中学も異

彼らの方にあと一步



亡くなつた上村達太さんたちがよく遊びにいたたまれる公園。日が暮れた後も少年たちの声が響いていた(川崎市川崎区で)。高屋武真介撮影

上村さんは、昨日一年前、島根県の隣接諸島・西ノ島から川崎に引越して来た。母子家庭で、上村さんと似た境遇の遊び仲間たちがいた。中2の少年たちは、上村さんの一つ上の少年たちがよく遊んでいたたまれる公園。日が暮れた後も少年たちの声が響いていた。高屋武真介撮影

川崎市教育委員会による川崎市立高木中学校では、市内には長期欠席で指導が必要とされる中学生が150人(2月28日時点)いる。少年のスマホには、心配する担任教師が時々電話していくが、この一年は会つた

なるが、公園でバスケットを

して遊んでいたうちに知り合

い、仲がよくなつたという。

最初に話を聞いた時は驚い

た。髪形も服装もごく普通だ

が、会話の最中に自然とたば

こを吸い始める。注意しても

「小学6年から吸ってる」と

思

して遊んでいたうちに知り合

い、仲がよくなつたとい

う。そんな少年が、意外な顔を

見せた瞬間があつた。取材

にいつも付き添う10代後半の

姉の仕事は何かと尋ねた時

なるが、公園でバスケットを

して遊んでいたうちに知り合

い、仲がよくなつたとい

う。そんな少年が、意外な顔を

見せた瞬間があつた。取材